

色でパフォーマンスを高めよう

齋藤朱里（兵庫県立北摂三田高等学校 HGCLC）

序論

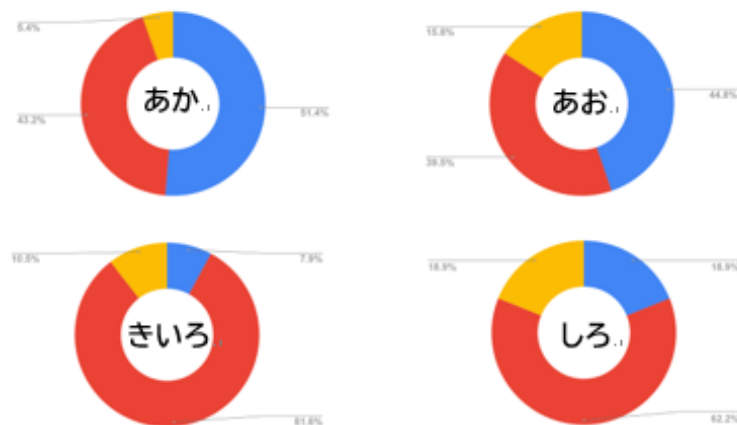
- ①研究テーマを取り巻く現状
授業が長く感じる。授業に集中できない。
- ②リサーチクエスチョン=研究で得たいことの内容
授業が短く感じる色=授業に集中できる色は何色か

先行研究と仮説

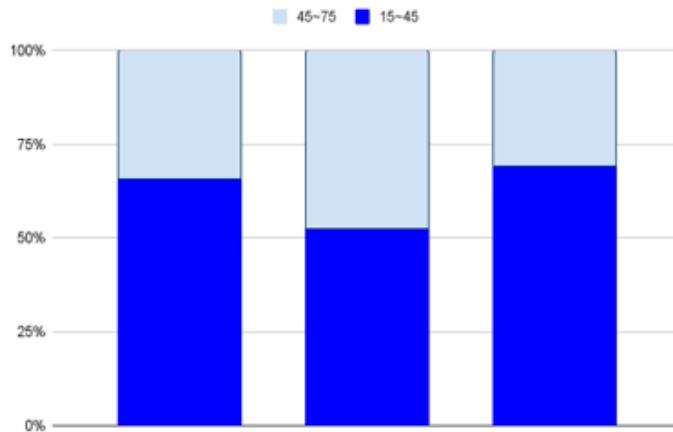
- ①先行研究
物流現場においては、黄と白は時間の経過が短く感じ、黒と赤は長く感じる傾向にあった。
→職業現場はずっと動いているが、授業は座ったまま
⇒実験結果が変わるのではないか
- ②研究に取り組む意義
集中力を高め、学習の質や、パフォーマンスを向上させる。
- ③仮説
・青色ペンで勉強すると暗記能力が向上する
→集中力の向上によるものと仮定
⇒青色が最も時間の経過が早いのではないか

研究手法 ① ③

英語Cの授業で、神原先生にご協力いただき、授業の英文の色を赤、青、黄色、白に変える。授業の体感時間を、通常より“早く感じた” “遅く感じた”を調査する。



黄と赤がそれぞれの実験で、結果が変わったため、黄と赤と青で実験を行う。ひらがなで書いた古文をクラスごとに違う色で読んでもらった読むのにかかった時間を調査する



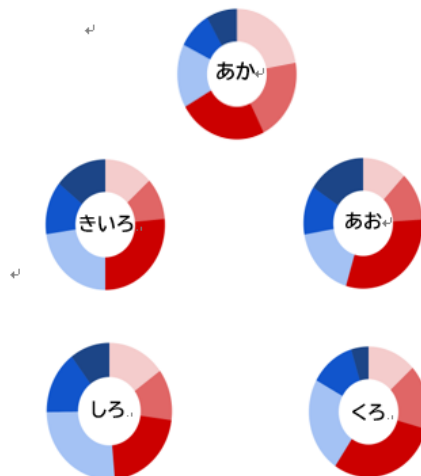
研究手法 ②

Google form 上でアンケートを配信

単色（赤、青、黄、黒、白）の画像を見て、時間の経過を計測する。

自分が1分経過したと思ったときに、ストップウォッチを止め、実際経過した時間との差を測る。

※ストップウォッチは見ず、心の中でカウントはしない



結果考察

実験①

赤色と青色が、圧倒的に良い結果だった。

実験を実施する時間帯にばらつきがあった。

実験②

5 s ごとのグラフ

青と黄色は、6.5 s への割合（青色グラフ）が高い

→自分が想像しているよりも時間が経過している

⇒授業に向いている

赤色と黒色は、6.5 s への割合が少なく、~6.0 s の割合が大きい

⇒授業に向いていない

全員赤→青→黄→黒→白の順で、実験したため、慣れによって結果に影響した可能性がある。

実験③

黄色よりも赤色のほうが良い結果となった。

考察

青色が全体的に良い結果となり、黒色が最も悪い結果となった。
今後の研究では、パフォーマンスを向上させる
色の組み合わせについて、調査していきたい。

参考文献

物流現場において色彩が体感距離及び体感時間に与える影響に関する研究